

東京都からの連絡事項

1 多様な主体との連携活動促進支援事業について

2 まちづくり推進コンシェルジュについて

3 多摩の魅力発信プロジェクトについて

4 多摩島しょ移住定住促進事業について

多摩地域における多様な主体との連携活動促進支援事業

1 目的

- ✓ 多摩地域において、市町村と民間企業、大学及びNPO法人等の多様な主体との連携による広域的な地域課題の解決や、新たな価値の創造など、先進的な取組を支援し、多摩地域の多様な魅力を向上させる

2 現状・課題

- ✓ 人口減少社会において、高齢化や人口低密度化等による行政コストが増大していく中で、限りある資源を有効かつ効率的に活用しながら、都民ニーズの多様化に対して高度な行政サービスを提供するとともに、地域経済の活性化による魅力ある地域づくりを行っていくためには、**広域的な連携が必要不可欠**
- ✓ 多摩地域には、高い技術力を持つ企業や大学、研究機関等が集積しているとともに、緑豊かな自然や観光資源が豊富であり、ポテンシャルがある

多様なプレイヤーを連携し、つなぐことで、多摩のポテンシャルを更に磨き上げ、地域それぞれの特性や課題に応じて、多摩地域が持続的に発展できる取組が必要

3 事業内容

- ✓ 多摩地域において、市町村と多様な主体との連携による地域課題の解決や新たな価値の創造など、先進的な取組を支援する

技術的支援（コンサルによる支援）

- 課題解決策検討支援、多様な主体とのマッチング支援、事業実施段階における各施策の企画・提案・助言等

財政的支援（補助金交付）

- 多摩地域の2つ以上の市町村が連携し、民間企業、大学、NPO団体等の多様な主体と連携して実施する広域的な地域課題の解決や新たな価値の創造など、先進的な事業

補助期間	最長3年間
補助上限額	1事業2,000万円 ※初年度は1,000万円
補助率	2/3

4 令和8年度採択事業

新たなコミュニティの創出に向けた地域連携イベントによる地域活性化プロジェクト

目的 地域を越えた交流・関係性を継続的に生むコミュニティ基盤の形成

連携 【自治体】東久留米市（代表市）、清瀬市 【多様な主体】東久留米市商工会、清瀬商工会、清瀬市観光協会

- 概要**
- **基盤の整備**（共通広報・横断調整の仕組み化・市境往来を誘発する取組・回遊ログ可視化 等）
整備した基盤を活用し、以下2つの施策を実施
 - **地域連携による街バルの実施**（利用エリアを限定した券種を組み合わせ販売することやポップアップ出店、ノベルティ配布等を通じて、市境を越えて飲食店を巡る行動を促し、2市にまたがる回遊導線を形成）
 - **民間主体イベントの横断的連携**（地域内で点在している民間主体のイベントを横断的につなぎ、イベントの企画や広報面での連携を通じて、広域的な一体感と面的な広がりを形成）

多摩地域における多様な主体との連携活動促進支援事業

5 既存支援事業の概要

令和6年度採択事業

武蔵五日市駅前拠点施設を核とする秋川流域の魅力と回遊性の向上、交流人口・関係人口の創出

目的	秋川流域の魅力発信と人々が利用・交流する場の創出、秋川流域の回遊性の向上
概要	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年度に開設する武蔵五日市駅前の拠点施設の整備を契機に、秋川流域3市町村とそれぞれの観光協会等とが連携し、流域内外の人々の交流の場の創出や秋川流域の魅力発信を実施 秋川流域の回遊性の向上に向けた交通手段を確保するとともに、拠点をつなぐ仕掛けづくりを実施
連携	【自治体】あきる野市（代表市）、日の出町、檜原村 【多様な主体】3市町村観光協会
実績	<ul style="list-style-type: none"> 2025年7月「フレア五日市」オープン ・拠点施設でイベント実施（12回程度） ・施設内のデジタルサイネージ設置 3市町村の観光パンフレット作成 ・回遊性の向上に向けた、既存交通資源の利活用と観光プラン（スタンプラリー等）の実施検討



武蔵五日市駅前拠点施設「フレア五日市」

広域連携による共通プラットフォームを活用した情報発信事業

目的	多様な主体と連携し効果的な取組を推進することで、プラットフォームを活用したマッチングや産業創出などにつなげる
概要	<ul style="list-style-type: none"> プラットフォームの内容充実（多様な主体との連携含む）、リニューアル、プラットフォームの認知度向上 企業同士のビジネスマッチング等の具体的成果につなげる取組
連携	【自治体】調布市（代表市）、八王子市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、町田市、日野市、国立市、福生市、狛江市、東大和市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、あきる野市 【多様な主体】各市の商工会議所・商工会、東京信用保証協会、東京都多摩地域事業承継・引継ぎ支援センター、都立産業技術研究センター、中小企業振興公社多摩支社、西武信用金庫、中小企業基盤整備機構、プラチナ・キャリア・センター（東京しごと財団）
実績	<ul style="list-style-type: none"> 登録企業339社・金融機関や企業向け支援機関との連携（PR等）・産業交流展とたま未来・産業フェア、たま工業交流展への出展 サイトの機能拡充（企業会員登録機能、掲載企業へのお問合せ機能、お気に入り登録機能、スクレイピング機能、メルマガ機能等）



共通プラットフォーム

令和7年度採択事業

TOKYO広域連携事業 ひきこもり・生きづらさをかかえる女性支援事業

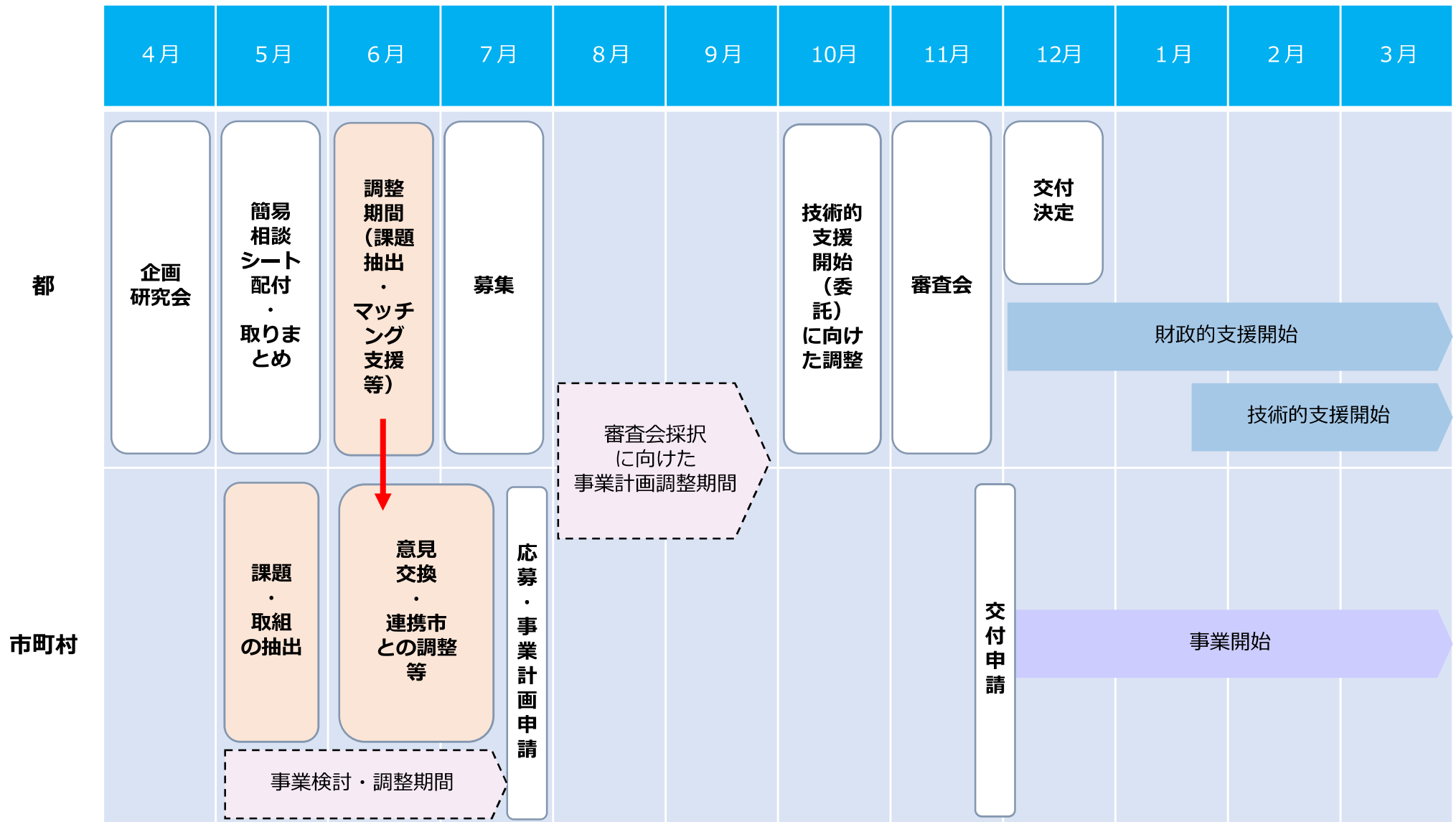
目的	ひきこもり当事者の孤立感の軽減や自己肯定感の獲得、次のステップ（生活改善、就労など）へのきっかけづくり
概要	<ul style="list-style-type: none"> 当事者のサポートとして、ひきこもり・生きづらさをかかえる当事者団体の体験談を聞く講演、女性限定の当事者交流会・家族等交流会を実施し、当事者や家族が安心して話せる場を提供する 行政機関等による支援体制の強化として、新たに研修会を実施し、行政職員等の支援者のスキルアップと支援人材の裾野拡大を図る
連携	【自治体】昭島市（代表市）、立川市、武蔵野市、府中市、日野市、国分寺市、国立市、東大和市 【多様な主体】（社福）調布市社会福祉協議会、（社福）国立市社会福祉協議会、（社福）清瀬市社会福祉協議会、（一社）ひきこもりUX会議
実績	<ul style="list-style-type: none"> ひきこもりUX女子会実施（10回） ・多摩地域ネットワーク会議の実施（8回） 各市福祉部門の支援者を対象とした研修会の実施



ひきこもりUX女子会チラシ

多摩地域における多様な主体との連携活動促進支援事業

6 スケジュール（予定）



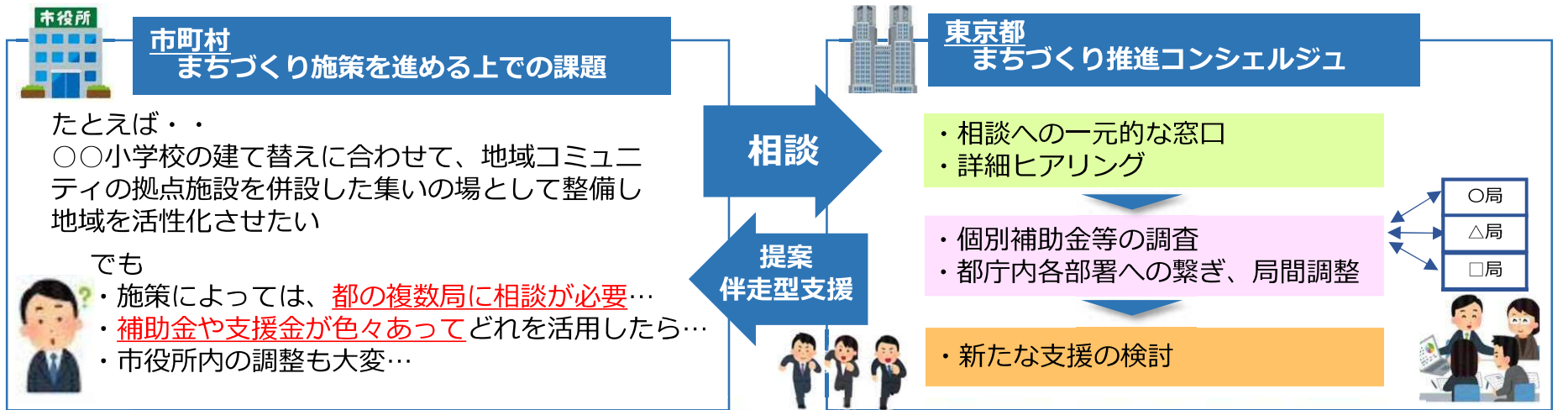
まちづくり推進コンシェルジュについて

令和8年4月
東京都総務局

【目的】

市町村からの相談を一元的に受け止め、関係局と連携しながら、課題解決の提案や支援を実施
→ 市町村が実施するまちづくり施策の一層の推進を後押し

まちづくり推進コンシェルジュ イメージ



市町村と都が連携を深め、まちづくり施策をより円滑に推進

【まちづくり推進コンシェルジュ相談窓口】

多摩地域 : 多摩振興担当 03-5388-2443
島しょ町村 : 島しょ振興担当 03-5388-2444
小笠原振興担当 03-5388-2445

これまでの活用事例

財政支援への つなぎ

- ・ 東京2020大会のレガシーとして整備予定のカフェ（新設）と公衆トイレ（改築）の合築施設について、都に補助金がないようである・・・
- ・ 関係団体の補助金の対象となることを見出し、関係者間での調整を経て、施設の一部（公衆トイレ）について、補助金の活用につなげた。

取組事例 の紹介

- ・ 地域振興を図ることを目指し、自治体の基礎情報を広域的に集約したデータベースの構築を検討するにあたり、助言や支援をお願いしたい・・・
- ・ 都の関連する取組や他の自治体の取組事例などを紹介。今後、事業が具体化した段階で、関係局も交え、継続的に支援

目的

多摩地域の持つ豊かな自然や産業、歴史、文化など多様な魅力に加え、各市町村の特性を踏まえ、創意工夫を凝らして実施されている取組を魅力としてとらえ、市町村の皆様と連携して広く発信していくことで、更なる多摩の魅力の創出につなげていく。

実施内容（予定）

（1）大学生を対象とした市町村事業のPR

大学生を対象に、市町村の先進的・特徴的な取組等の視察や意見交換などを実施し、地域の魅力を身近に感じ、理解を深めてもらい、共に対話することで、新たな視点で多摩地域の更なる発展を後押し

（実施内容）

- 大学に向けたプロモーション資料の作成・参加者募集
- 大学生を対象とした視察・意見交換の実施
- 視察状況等を取材し、ビジネス誌にも掲載

実施回数 : 10回
視察実施時期 : 8～11月
雑誌掲載回数 : 3回



（2）広報に係るアドバイザーの派遣

より効果的・戦略的な広報の実施を検討している市町村に対してアドバイザーを派遣し、特性や実情にあわせた助言等の支援を実施することで、市町村事業に対する取材や視察の企画・誘致を促進

（実施内容）

- メディアからの取材や他団体・企業からの視察のフォロー
- 効果的・戦略的な広報への助言等

実施回数 : 5自治体
派遣回数 : 1自治体当たり5回



（3）多様な媒体を活用した魅力発信

地域の魅力スポット、地域資源を活かした子供向けのイベントなどを、市町村や地域の多様な主体と連携し、特設ホームページやSNS、パンフレット・ポスターなど様々な媒体を活用し発信

事業イメージ

大学生



- ・ 行政の現場に行ってみたい！
- ・ 卒論研究等に活かしたい！
- ・ 地域とのつながりを持ちたい！

取組例・効果

- ・ SNS等での情報発信
- ・ 自治体と大学とのつながり創出 など

現場視察 & 意見交換

市町村



事業分野は
問いません！

- ・ 力を入れた取組を広く知ってほしい！
- ・ 取組をもっと良くしたい！
- ・ 学生目線での意見が欲しい！

取組例

- ・ 地域の特徴を踏まえた施策
(例：少子・高齢者施策、地域公共交通、空き家)
- ・ DXを活用した住民サービス向上
(例：書かない窓口) など

東京都

募集等

- ・ 都内大学等約181校にプロモーション資料などで視察事業のPR
- ・ 参加大学・学生の募集、市町村とのマッチング

支援

- ・ 視察の運営 (内容調整、移動など)
- ・ 広報に係るアドバイザー派遣

情報発信

- ・ ビジネス誌 (全国版) への記事掲載
- ・ HP・SNS等での情報発信を促進



▲募集チラシ



▲大学等へのプロモーション資料



▲多摩の魅力発信プロジェクトHP

<https://tama120.metro.tokyo.lg.jp/initiative/>



▲都公式Instagram

[@tamahatsu_official](https://www.instagram.com/tamahatsu_official)

R7実施内容 | 大学生を対象とした市町村事業のPR

- チラシやプロモーション資料を作成し、都内全大学へアプローチして視察する事業を周知、同時に大学生へリーチし参加者を募集
- 10団体において実施し、各回2～7名の大学生が参加（1団体は当日荒天のため視察は中止）
- 大学生が視察した取組の概要や様子を[ビジネス誌記事（全国誌）](#)、多摩の魅力発信プロジェクト[ホームページ](#)・[Instagram](#)にて広く発信

「実施の様子」や「実施後の声」

市町村の特色をPR



▲地域の産業を知る

事業を視察



▲新たな施設を見る



▲現場をじっくり巡る



▲イベントを間近で見る

職員や関係者と意見交換



▲グループワーク



▲みんなで意見交換

発信



▲HPで紹介

参加した大学生からの声

- 事業の様々な**取り組みを知る**ことができた。
- とてもよく**地域のことを考えられた事業**内容が印象に残った。
- 今後も自分の**街に愛着を持ちたい**と思えた。
- **普段行かない多摩地域を感じる**ことができ、貴重な経験となった。

実施した市町村からの声

- **直接PRする機会が少ない大学生**に対し、**地域の魅力や事業に興味を持ってもらう**貴重な機会となった。
- **多様な学部**の大学生から**新鮮で多様な意見を得る**ことができた。
- 地域の魅力や事業について**改めて考えるきっかけ**となった。
- **現場の雰囲気や市の強み**が**好印象で大学生**に伝わった。

実施で期待される効果

- ✓ 市町村が推進している取組を**若者の視点も捉えた記事**などで広く**全国に発信**することで、**取組や地域の認知度の向上**に
- ✓ 大学生との意見交換での**固定概念に囚われない自由な意見**が、**事業ブラッシュアップ**や**魅力の再認識**の一助に
- ✓ **将来を担う大学生**が自治体の課題やその解決に向けた取組を**体感する機会**を提供し、**地域や行政への関心を持つ若年層の開拓**に

こんな効果が！



R7実施内容 | 広報に係るアドバイザーの派遣

アドバイザーを5団体に派遣し、ブランディング手法や事業者誘致への効果的な広報、主要事業の戦略的な広報等を支援

広報のこんなお悩み



- ・行政情報を届けたいターゲットに訴求できていない
- ・複数ある広報ツールの使い分けが曖昧で効果がでない
- ・業務に追われ専門知識の習得や研究の機会が少ない
- ・発信はしているが戦略的な広報につながらない
- ・課題意識はあるがどのように見直したらよいかわからない

アドバイザー
が支援!

実施団体からの声



- ・専門家の豊富な知識・経験から、幅広い領域で助言を受けられた。
- ・情報発信における課題整理と改善の方向性が明確になった。
- ・広報するターゲットの分析方法等、実務で役立つスキルを得られた。
- ・市の状況を外部からどのように見えているのか知れた。
- ・専門家のバックアップで庁内調整を円滑に進められた。

実施で期待される効果

- ✓ 「伝わる広報」の手法や無関心層への情報発信方法など、課題へのアプローチの仕方から解決策への道筋づくり
- ✓ 外部からのユーザー目線での提言や専門的な助言から、新たな発想や気づきで広報手法の改善やレベルアップにつながる
- ✓ 専門家の知見に基づいた論理的な根拠を事業実現に向けた調整に活用し、取組を後押し



令和8年度 多摩・島しょ地域への移住・定住促進 主な予算案の概要

▼ 移住・定住促進市町村支援事業 【8年度：1億円（7年度：1億円）】

多摩・島しょ地域への更なる移住・定住を促進するため、市町村の自主的な取組を後押しする補助を実施

事業内容

8年度の取組	支援対象
移住・定住協力者等発信【新規】	市町村が地域情報の提供や移住相談の協力を行う地域の協力者等を一覧にして発信する事業を実施する際の経費
移住イベント出展	市町村が移住に関する全国イベントに出展等する際の経費
移住体験	市町村が主催するツアー開催等の経費
地域交流・活動サポート	市町村の、地域コミュニティ・団体が主体となって行う移住定住促進につながる交流活動への支援等の経費
移住・定住アドバイザー	市町村が移住・定住アドバイザーを活用する際の経費
移住体験住宅等を活用した地域交流イベント	町村が交流拠点施設を活用し、地域交流イベントを実施する際の経費
定住促進サポート（定住支援金）	町村の、島しょ山村地域に就業・定住する、かつ要件を満たす者への支援金

▼ 多摩・島しょ移住・定住サポーター人材バンク事業 【8年度：9百万円（新規）】

市町村の取組を支援できる外部人材（サポーター）の情報を人材バンクとして発信



▼ 多摩・島しょ地域交流ワーケーション体験ツアー、島しょ山村地域における暮らし体験・空き家見学ツアー なども、引き続き実施

